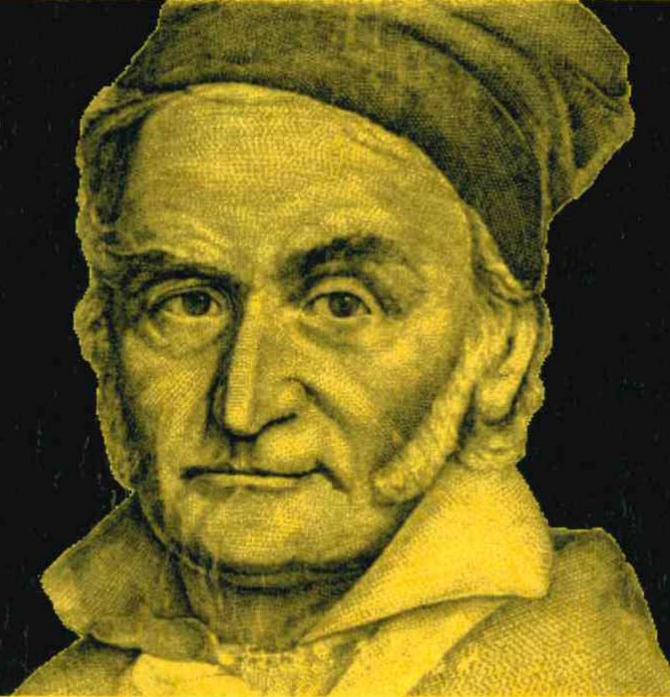


数学ⅡB

数学本科テキスト(学校内容準拠)

| *Carolus Fridericus Gauss*



数学Ⅱ

- Theme01 式と証明
- Theme02 複素数
- Theme03 図形と方程式
- Theme04 軌跡と領域
- Theme05 三角関数
- Theme06 指数対数
- Theme07 微分法
- Theme08 積分法
- Theme09 面積公式の裏技

数学 B

- Theme10 数列
- Theme11 漸化式
- Theme12 平面ベクトル
- Theme13 空間ベクトル

Theme01 式と証明 §1 整式の計算

1

次の多項式 A , B について, A を B で割った商と余りを求めよ。

- (1) $A = a^2 + 7a + 10$, $B = a + 2$ (2) $A = x^2 - 3x - 5$, $B = 2x - 2$
(3) $A = x^3 + 5x - 6$, $B = x - 1$ (4) $A = a^3 + 2a - 3$, $B = a^2 + 2a - 1$

2

次のような多項式 B を, それぞれ求めよ。

- (1) $x^3 - x^2 + 3x + 1$ を B で割ると, 商が $x + 1$, 余りが $3x - 1$
(2) $6x^4 + 7x^3 - 9x^2 - x + 2$ を B で割ると, 商が $2x^2 + x - 3$, 余りが $6x - 1$
(3) $x^4 - 6x^2 + 2x + 8$ を B で割ると, 商が B と一致し, 余りが $2x - 1$

3

次の式 A , B を a についての多項式とみて, A を B で割った商と余りを求めよ。

- (1) $A = 2a^3 - 6a^2b + 8b^3$, $B = a - b$
(2) $A = a^4 + a^2b^2 + b^4$, $B = a^2 + ab + b^2$

4

次の分数式を約分して, 既約分数式にせよ。

- (1) $\frac{15a^2b^2}{40a^3b}$ (2) $\frac{4a^3 + 8ab^2}{5a^2}$ (3) $\frac{x^2 - 3x + 2}{x^2 - 4x + 3}$
(4) $\frac{x^2 - 2x - 3}{x^2 - x - 2}$ (5) $\frac{a^2 - (b - c)^2}{(a + b)^2 - c^2}$ (6) $\frac{a^3 - a^2b + ab^2}{a^3 + b^3}$

5

次の計算をせよ。

(1)
$$\frac{(7a^2b)^2}{21x^3y^3} \times \frac{3x^2y}{35(ab^2)^2}$$

(2)
$$\frac{3axy^3}{5b^2} \div \frac{6ay^3}{10b^2x}$$

(3)
$$\frac{a^2-11a+24}{a^2-6a-16} \times \frac{a^2+2a}{a^2-6a+9}$$

(4)
$$\frac{x^2-8x-20}{3x^2+5x-2} \times \frac{3x^2-31x+10}{x^3-2x^2-80x}$$

(5)
$$\frac{a^2+3a+2}{a^2-5a+6} \div \frac{a^2+4a+3}{a^2+a-12}$$

(6)
$$\frac{x^2-9}{x+2} \div (x^2-x-6)$$

(7)
$$\frac{6x^2-7x-20}{x^2-4} \times \frac{x^2-x-2}{6x^2-15x} \div \frac{3x^2+7x+4}{x^2+2x}$$

6

次の計算をせよ。

(1)
$$\frac{x^2+4}{x-2} - \frac{4x}{x-2}$$

(2)
$$\frac{3}{x(3-x)} + \frac{x}{3(x-3)}$$

(3)
$$\frac{1}{x^2-x} + \frac{1}{x^2-3x+2}$$

(4)
$$\frac{3x-4}{x^2-3x+2} - \frac{3x+2}{x^2-4}$$

(5)
$$\frac{2x-1}{x^2-x-6} - \frac{2x+1}{x^2+x-12}$$

(6)
$$\frac{x-2}{2x^2-5x+3} + \frac{3x-1}{2x^2+x-6} + \frac{2x-5}{x^2+x-2}$$

7

次の式を簡単にせよ。

(1)
$$\frac{x-1+\frac{2}{x+2}}{x+1-\frac{2}{x+2}}$$

(2)
$$1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{1-x}}$$

Theme02 複素数 §1 虚数基本計算

1

次の計算をせよ.

- (1) $(2+3i)+(3-5i)$ (2) $(5+3i)-(6-8i)$ (3) $(3-4i)-(3+4i)$
(4) $(3-2i)^2$ (5) $(5+2i)(2-3i)$ (6) $(2-5i)(2i-5)$

2

次の等式を満たす実数 x, y の値を求めよ.

- (1) $x+3i=2+yi$ (2) $(x+1)+(2y-3)i=-1+i$
(3) $(2i+3)x+(2-3i)y=5-i$ (4) $(1+i)(x-yi)=2+i$

3

次の複素数について、それと共役な複素数との和、積を求めよ.

- (1) $3+2i$ (2) $4-5i$ (3) $4i$ (4) -2

4

次の計算をせよ.

- (1) $\frac{1}{1+i}$ (2) $\frac{1+i}{i}$ (3) $\frac{3-i}{3+i}$ (4) $\frac{2+3i}{2-3i} + \frac{2-3i}{2+3i}$

5

次の各数を, i を用いて表せ.

- (1) $\sqrt{-2}$ (2) $\sqrt{-16}$ (3) $\sqrt{-75}$ (4) $\sqrt{-\frac{3}{4}}$

6

次の方程式の解を求めよ.

- (1) $x^2=-3$ (2) $5x^2=-2$ (3) $-27x^2=12$
(4) $(x-2)^2=-1$ (5) $3(x+1)^2=-27$ (6) $-2(x-3)^2=3$

7

$x = \frac{-1 + \sqrt{5}i}{2}$, $y = \frac{-1 - \sqrt{5}i}{2}$ であるとき, 次の式の値を求めよ.

- (1) $x + y$ (2) xy (3) $xy(x + y)$ (4) $x^2 + y^2$ (5) $x^3 + y^3 + x^2y + xy^2$

8

平方して $-5 - 12i$ となる複素数 $z = a + bi$ (a, b は整数) を求めよ.

9

等式 $x^2 - 4xy + 5y^2 + 2x - 8y + 5 = 0$ を満たす実数 x, y の値を求めよ.

Theme03 図形と方程式 §8 円

1

次のような円の方程式を求めよ.

- (1) 中心が原点, 半径 2
- (2) 中心が $(3, -1)$, 半径 4
- (3) 中心が $(1, 2)$ で原点を通る.
- (4) 直径の両端が $(4, -2)$, $(-6, -2)$
- (5) 中心が $(3, 4)$ で x 軸に接する.
- (6) 3 点 $(1, 1)$, $(2, -1)$, $(3, 2)$ を通る

2

次の方程式は, どんな図形を表すか.

- (1) $x^2 + y^2 - 6x + 5 = 0$
- (2) $x^2 + y^2 - 2x + 4y = 0$
- (3) $3x^2 + 3y^2 - 6x + 12y + 5 = 0$
- (4) $x^2 + y^2 - \sqrt{3}x + y + 1 = 0$

3

次の円の方程式を求めよ.

- (1) 円 $x^2 + y^2 - 3x + 5y - 1 = 0$ と中心が同じで, 点 $(1, 2)$ を通る円
- (2) 点 $(1, -3)$ に関して, 円 $x^2 + y^2 = 1$ と対称な円
- (3) x 軸上に中心があつて, 2 点 $(3, 5)$, $(-3, 7)$ を通る円
- (4) 中心が直線 $y = x$ 上にあり, 半径が $\sqrt{13}$ で点 $(2, 1)$ を通る円
- (5) 点 $(1, 2)$ を通り, x 軸および y 軸に接する円
- (6) 3 直線 $x - y = -1$, $x + y = 3$, $x + 2y = -1$ で作られる三角形の外接円

4

方程式 $x^2 + y^2 + ax - (a + 3)y + \frac{5}{2}a^2 = 0$ が円を表すとき

- (1) 定数 a の値の範囲を求めよ.
- (2) この円の半径が最大になるとき, その大きさと定数 a の値を求めよ.

§ 9 円と直線の位置決定

1

円 $x^2 + y^2 = 1$ と次の直線の位置関係 (異なる 2 点で交わる, 接する, 共有点をもたない) を調べよ. また, 共有点のあるときは, その座標を求めよ.

(1) $x - y = 1$

(2) $x + y = \sqrt{2}$

(3) $2x + 3y = 6$

2

次の直線と円が, (ア), (イ), (ウ) の各条件を満たすように, それぞれ定数 a の値または a の値の範囲を定めよ.

(ア) 異なる 2 点で交わる

(イ) 接する

(ウ) 共有点をもたない

(1) $y = x + a, x^2 + y^2 = 1$

(2) $y = ax + 2, x^2 + y^2 = 1$

3

中心が点 $(3, 0)$ で, 直線 $4x - 3y - 2 = 0$ に接する円の方程式を求めよ.

Theme05 三角関数 § 1 弧度法と一般角

1

次の角の動径を図示せよ。また、それぞれ第何象限にあるか。

- (1) 140° (2) 410° (3) -70° (4) -760°

2

次の角の動径を OP とするとき、動径 OP の表す一般角を $\alpha + 360^\circ \times n$ (n は整数) の形で表せ。ただし、 $0^\circ \leq \alpha < 360^\circ$ とする。

- (1) 750° (2) 1080° (3) -90° (4) -840°

§ 2 弧度法

1

次の角を、度数は弧度に、弧度は度数に、それぞれ書き直せ。

- (1) 60° (2) 90° (3) 150° (4) 270° (5) 720°
 (6) $\frac{3}{4}\pi$ (7) $\frac{5}{2}\pi$ (8) $\frac{3}{8}\pi$ (9) $\frac{\pi}{12}$ (10) 3π

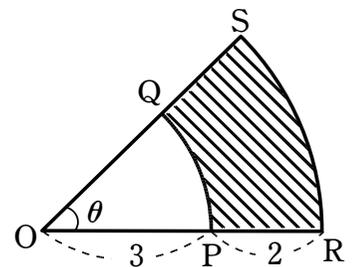
2

次のような扇形の弧の長さ l と面積 S を求めよ。

- (1) 半径 6, 中心角 $\frac{\pi}{3}$ (2) 半径 8, 中心角 150°

3

右の図の扇形において、斜線部分の面積が 2π であるとき、中心角 θ を求めよ。



Theme10 数列 §1 数列の表し方

1

一般項が次の式で表される数列 $\{a_n\}$ の、初項から第5項までを求めよ.

(1) $a_n = 4n - 2$

(2) $a_n = 3 \cdot 2^n$

2

次の数列はある規則で作られている. その規則を考え、一般項を求めよ.

(1) 3, 6, 9, 12, 15, ……

(2) 0, 1, 8, 27, 64, 125, ……

(3) $-\frac{1}{2}, \frac{1}{4}, -\frac{1}{8}, \frac{1}{16}, \dots$

(4) 0, 2, -4, 6, -8, ……

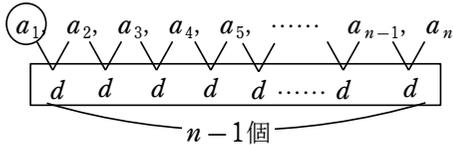
(5) 1·1, 3·4, 5·9, 7·16, ……

(6) $1-1, 2+\frac{1}{2}, 3-\frac{1}{3}, 4+\frac{1}{4}, \dots$

§ 2 等差数列

等差数列の一般式

$$a_n = a_1 + (n-1)d$$



$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + d + d + d + \cdots + d \\ &= a_1 + (n-1)d \end{aligned}$$

(例) a_n { 1, 4, 7, 10, 13, 16, \dots }

$$\begin{aligned} 13 &= 1 + 3 + 3 + 3 + 3 \\ &= 1 + 3 \times 4 \end{aligned}$$

d を公差という

1

次の等差数列の公差と一般項を求めよ。また、第10項を求めよ。

(1) 9, 6, 3, 0, \dots

(2) \square, 7, \square, 17, \dots

2

等差数列において、初項 a 、公差 d 、第 n 項 a_n として、次のものを求めよ。

(1) $a = 10$, $a_{10} = 28$ のとき d , a_n

(2) $d = 3$, $a_8 = 12$ のとき a , a_n

3

第16項が -50 、第21項が -80 である等差数列の、初項と公差を求めよ。
また、4はこの数列の第何項か。

4

等差数列 6, 10, 14, \dots において、第何項が初めて 100 より大きくなるか。